

(日本史 A プリント(14))

I、近代国家の成立 5. 近代産業の発展

c. 寄生地主制と戦前の日本経済

① 1880年代～ 松方デフレ→自作農民の没落=大地主による土地の集積すすむ

→地主、耕作から遊離=[1 **寄生地主**]化→資金を[2 **鉄道**]や[3 **株式**]に投入

※寄生地主… 自らは農業をあまり経営せず土地を貸して高額小作料を得る地主

②日本経済の特徴

ア)[4 **軍需**]産業部門(製鉄業や造船業を含む)

と輸出関連部門([5 **製糸**]業と[6 **綿紡績**]業)のみ発達

→対アメリカ

→対アジア

その他の産業(機械業など)の未発達

イ)[7 **寄生地主**]制のもとでの高額[8 **小作料**]→農民は、(a)農業収入のみでは生活ができない

→家計補充のため、(b)低賃金・無権利の工場労働力(特に女子)を放出(「ああ野麦峠」「女工哀史」)

ウ)安価な労働力を利用して、[9 **安価な工業製品**]を生産→大量に輸出

エ)高額小作料・低賃金労働→[10 **国内市場の狭小さ**] = [11 **輸出**]への依存を強める

→日本資本主義の軍国主義的性格

d. 社会運動の発生

工場制工業が勃興するにつれて、労働者が増加してきた。当時の工場労働者の大半は繊維産業が占めており、その大部分は[12 **女工**]であり、その多くは、苦しい家計をたすけるために出稼ぎにきた[13 **貧農(小作農民)**]などの子女たちで、[14 **前貸金**]や寄宿舎制度で工場に縛りつけられ、欧米よりはるかに低い賃金で長時間の労働に従事していた。

日清戦争前後の産業革命期に入ると、待遇改善や賃金引上げを要求する工場労働者のストライキがはじまった。1897年には[15 **高野房太郎**]・片山潜らが[16 **労働組合期成会**]を結成して労働運動の指導に乗り出した。1891年には足尾銅山(栃木県)の鉱毒が渡良瀬川流域の農漁業に深刻な被害をもたらした公害事件([17 **足尾銅山鉱毒**]事件)が発生し、15年余りにわたって大きな社会問題となった。

これらの動きに対して政府は、1900年に[18 **治安警察**]法を制定し労働運動などを取り締まった。その一方で、政府は労働条件を改善して労資対立を緩和しようとする社会政策の立場から[19 **工場法**]の制定に向かった。しかし資本家の反対もあって1911年ようやく制定されたが、きわめて不備な内容であった。

このような日清戦争後の労働運動の展開のなかで、[20 **幸徳秋水**] [21 **安部磯雄**]・片山潜・木下尚江らは、1901(明治34)年に最初の社会主義政党である[22 **社会民主党**]を結成したが、結成直後に解散を命じられた。

また、日露戦争の危機が深まるにつれて、[23 **幸徳秋水**]・堺利彦らは[24 **平民社**]をおこし、『[25 **平民新聞**]』を発行して戦争反対(反戦論・非戦論)を国民によびかけた。こうして社会主義運動は政治運動に進む動きを強め、日露戦争後の1906(明治39)年には[26 **日本社会党**]が結成されたが、翌年には解散が命じられた。

さらに1910(明治43)年には[27 **大逆事件**]がおこり、政府はこれを機に社会主義運動に大弾圧を加えた。

①産業革命の進展→[28 **賃金労働者**]の増加 [29 **繊維**]業が中心

[30 **女子**]労働者が中心、男子労働者は[31 **鉱山業**]や[32 **運輸業**]におおく、[33 **重工場の熟練労働者**]は少ない

問 当時の女工についてまとめてみよう。

(1)どのような家の人か、なぜ女工になったのか

(c) **苦しい家計を助けるために出稼ぎにきた小作農民の子女**

(2)女工たちにはあまり自由が与えられていなかった。どのような仕組みがあったからか。

(d) **賃金前貸りや寄宿舎制度で工場に縛り付けられる**

(3)女工たちの労働環境をまとめてみよう

紡績業・(e) **二交代制の昼夜業** 製糸業での労働時間 (f) **15 時間 ~ 18 時間**

②待遇改善や賃金値上げを求める声の高まり→工場労働者による[34 **ストライキ**]の発生など

1897[35 **労働組合期成会**]([36 **高野房太郎**]、片山潜ら←[37 **アメリカ**]の影響を受ける)

キリスト教徒がおおい

熟練工を中心に[38 **鉄工組合**]や[39 **日本鉄道矯正会**]などの労働組合が結成される。

③[40 **足尾鉍毒**]事件の発生→[41 **田中正造**]を中心に反公害運動をすすめる

④政府 1900年[42 **治安警察**]法を制定([43 **山県**]内閣) = 団結権・ストライキ権を制限

[44 **工場**]法制定の動き = 労働者の保護をめざし、少年・女性の労働を制限などをめざす

→資本家の反対のため、[45 **1911**]年制定→[46 **1916**]年実施

不徹底な内容

⑤ 1898 [47 **社会主義研究会**]結成(安部磯雄・片山潜・幸徳秋水ら)

→ 1901[48 **社会民主**]党結成(←政府により即日解散)

⑥反戦・非戦運動 = 幸徳・堺利彦ら平民社を結成、[49 **平民**]新聞発刊

→[50 **日露**]戦争反対を強く主張、反戦論を主張

⑦ 1906 [51 **日本社会党**]党結成→翌年、解散命令へ

西園寺内閣

↓

⑧ 1910[52 **大逆**]事件で、社会主義者らへの大弾圧、幸徳ら死刑に処せられる

→以後、「冬の時代」へ